
乾彰夫教授

略歴／著作目録

著書

論文

解説

翻訳

報告書等

事典項目

評論等

インタビュー・報告記録

座談会

書評・図書紹介

紹介記事等

口頭報告

略歴

- 1950年1月 東京生まれ
- 1974年3月 東京大学教育学部卒業
- 1977年3月 東京大学大学院教育学研究科修士課程修了
- 1982年3月 東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学
- 1983年4月～1984年3月 日本学術振興会特別研究員
- 1984年4月～1995年3月 法政大学文学部講師・助教授・教授
- 1995年4月～2005年3月 東京都立大学人文学部教授
- 2005年4月～2015年3月 首都大学東京都市教養学部人文・社会系教授

非常勤講師歴等

東京電機大学理工学部、埼玉大学教育学部、東京都立大学人文学部、東京大学教育学部、東京大学教育学研究科、東京大学教養学部、法政大学文学部、名古屋大学教育学研究科、北海道大学教育学院、京都大学教育学研究科、日本学術振興会学術システム研究センター研究員

主な学会役職等

日本学術会議連携会員、日本教育学会常任理事・法人理事・教育学研究編集委員長・事務局長、日本生活指導学会理事、日本教育政策学会理事、教育科学研究会常任委員・事務局長

主な組合役職等

首都大学東京労働組合委員長・副委員長、都立大学・短期大学教職員組合委員長・副委員長、法政大学教職員組合中央委員・委員長代行

【著書】

- 『講座日本の学力 11 巻・道徳と教育』（共著）「青年期と道徳性の発達」、日本標準、1979
- 『大学入試制度の教育学的研究』（共著）日本教育学会入試制度研究委員会編、東京大学出版会、1983
- 『自立にむかう旅』（高校生の本 1）（単著）、大月書店、1986
- 『私たちの進路と社会』（高校生の本 4）（共著）、大月書店、1987
- 『世界の中の私たち』（高校生の本 5）（共著）、大月書店、1987
- 『岩波講座教育の方法 5・子どもの生活と人間形成』（共著）岩波書店、1987
- 『日本の教育と企業社会』大月書店（単著）、1990
- 『発達と学習』（共著）「思春期の発達」、学文社、1990
- 『数学と私たち（高校で何を学ぶか3）』（共著）、大月書店、1990
- 『シリーズ 中学生高校生の発達と教育（全3巻）』（共著）「受験・進路」「アルバイト」（第1巻『若者たちの現在』）「若者たちの仕事と生活」「学校はこれでいいか」（第3巻『学校をつくりかえる』）、岩波書店、1990
- 『現代社会と教育第1巻 現代と人間』（共著）「現代の産業社会と競争—競争構造の一元性と多元性」、教育科学研究会編、大月書店、1993
- Youth, Education and Work.*（共著）*Education as a foundation for work?*
 “The efficiency and problem of the Japanese Upper-secondary school”,
 Bash, L. & Green, A. eds., Kogan Page, London, 1995
- 『講座高校教育改革第1巻 高校教育は何をめざすのか』（共著）「戦後高校教育の現在」、労働旬報社、1995
- 『現代日本社会論』（共著）「教育政策・教育運動」、労働旬報社、1996
- 『講座学校第4巻 子どもの癒しと学校』（共著）「進路選択とアイデンティティの形成—『分化を遅らせる』進路選択理念の再検討」、柏書房、1996

- 『講座現代日本第3巻 日本社会の再編と矛盾』(共著)「企業社会の再編成と教育の競争構造」、大月書店、1997
- 『講座現代日本第4巻 日本社会の対応と構想』(共著)「90年代における学校改変と教育運動の課題」、大月書店、1997
- 『岩波講座現代の教育第9巻 教育の政治経済学』(共著)「教育の機会均等と平等をめぐる」、岩波書店、1998
- 『異議あり！都立高校の統廃合』(共著) 都立高校のいまを考える全都連絡会編集委員会編、高文研、2001
- 『揺らぐ〈学校から仕事へ〉—労働市場の変容と10代』(共著)「若者たちの労働市場のいま—『学校から仕事へ』の移行過程変容の性格と課題—」「若者たちの『学校から仕事へ』を支える公共システム—イギリスの場合—」、青木書店、2002
- 『18歳の今を生きぬく—高卒1年目の選択』(編著)、青木書店、2006
- 『不安定を生きる若者たち—日英比較 フリーター・ニート・失業』(編著)、大月書店、2006
- Handbook of Youth and Young Adult: New perspectives and agendas.* (共著)“NEETs, Freeters and flexibility: Reflecting precarious situations in the new labour market”, Furlong, A. ed., Routledge, 2009
- 『〈学校から仕事へ〉の変容と若者たち—個人化・アイデンティティ・コミュニティ』(単著)、青木書店、2010
- 『再検討 教育機会の平等』(共著)「学校から仕事への移行変容—新たな不平等構造の出現と『移行期』の学習保障—」、岩波書店、2011
- 『持続可能な包摂型社会への生涯学習—政策と実践の日英韓比較研究』(共著)「ポスト産業社会イギリスにおける若者の移行過程変容と若年支援政策」(共著)、大月書店、2011

- 『若者が働きはじめるとき—仕事、仲間、そして社会—』(単著)、日本図書センター、2012
- 『高卒5年、どう生き、これからどう生きるのか—若者たちが今〈大人になる〉とは』(編著)、大月書店、2013
- 『新しい高校教育をつくる—高校生のためにできること』(共著)「高校中退調査から見えてきたもの」、新日本出版社、2014
- 『高校・大学から仕事へのトランジション—変容する能力・アイデンティティと教育』(共著)「後期近代における〈学校から仕事への移行〉とアイデンティティ—『媒介的コミュニティ』の課題—」、ナカニシヤ出版、2014

【論文】

- 「エリクソンの青年期のとらえ方とアイデンティティ—青年期教育研究の方法論に関する一考察—」(修士学位論文)東京大学大学院教育学研究科、1977
- 「高校生の進路選択をめぐる意識と能力主義」『教育』臨時増刊号、国土社、1978
- 「現代教育における『能力主義』の性格と役割をめぐって」『東京大学教育学部教育史教育哲学研究室紀要』5号、1979
- 「現代の青年期と人格発達—アイデンティティ試論—」『教育学研究』47巻3号、日本教育学会、1980
- 「高校生の人格発達と生活綴り方の課題」『教育実践』28号、民衆社、1980
- 「高校教育で自己形成主体をどう育てるか」『教育』397号、国土社、1981
- 「1950年代の生活記録運動と青年のアイデンティティ—戦後日本社会における青年の自己形成と人間像—」『東京大学教育学部紀要』21巻、東京大学教育学部、1982
- 「社会的分業・物象化・アイデンティティ—研究ノート—」『東京大学教育学部教育史教育哲学研究室紀要』8号、1982

- 「青年の進路選択と現代の労働・社会・学校(上)」『教育』418号、国土社、1982
- 「青年の進路選択と現代の労働・社会・学校(下)」『教育』421号、国土社、1983
- 「職業選択の大衆化と職業観—高度経済成長初期農村青年の経済意識の展開から—」『東京大学教育学部紀要』23号、東京大学教育学部、1983
- 「青年の自立と孤独」『高校生活指導』、明治図書、1983
- 「人間の教育としての職業教育」『教育』430号、国土社、1983
- 「職業選択の大衆化と職業観—高度成長初期農村青年の経済意識の展開から—」『東京大学教育学部紀要』23巻、東京大学教育学部、1984
- 「思春期・青年期の発達課題と学校の役割」『教育』437号、国土社、1984
- 「青年期の自我発達と授業のリアリティ」『高校生活指導』、明治図書、1985
- 「『中・高校生の学習と生活・進路選択に関する意識調査』の分析」(共著)、『国民教育』64号、労働旬報社、1985
- 「『個性重視の原則』と臨教審の日本社会像・人間像」『教育』臨時増刊号、国土社、1985
- 「予備校生の進路選択に関する調査」(共著)、『大学進学研究』42号、大学進学研究会、1986
- 「1970年代後半以降の青年の進路状況について—研究ノート」『法政大学文学部紀要』32号、法政大学文学部、1986
- 「大学入試制度と青年の進路選択—予備校生の意識調査を中心に—」『教育改革と教育学研究3』、日本教育学会教育制度研究委員会、1986
- 「思春期の人間関係・仲間関係といじめ」、日本教育方法学会編『教育方法15』、明治図書、1986
- 「学校と労働市場をめぐる今日的矛盾」『教育』臨時増刊号、国土社、1987
- 「大学生の進路選択に関する意識調査」(共著)、『大学進学研究』46号、大

- 学進学研究会、1988
- 『私立文科系大学』学生の進路意識の考察『法政大学文学部紀要』34号、
法政大学文学部、1989
- 『国民生活にとっての『制度としての学校』』『高校生活指導』100号、明治
図書、1989
- 『高校教育の『現代的構造』の解体と『学校の日常』の再生』『高校生活指導』
105号、明治図書、1990
- 「不登校・高校中退と学校の競争構造」、日本教育方法学会編『教育方法20』、
明治図書、1991
- 「揺れる自立へのパースペクティブ—イギリスの若者たちをとりまく困難」
『高校生活指導』111号、明治図書、1992
- 「義務教育後の教育・訓練制度改革をめぐる」『高校生活指導』112号、明
治図書、1992
- 「イギリスの中等学校の授業」『高校のひろば』5号、労働旬報社、1992
- 「現代日本の『企業社会』と高校教育の課題」『未来をひらく教育』91号、
全国民主主義教育研究会、1993
- 「安城学園高校の教育改革」『教育』560号、国土社、1993
- 「『普通科』の分裂・解体と『高校像』形成の新たな課題」『高校のひろば』8
号、労働旬報社、1993
- “The Competitive Structure of School and the Labour Market : Japan and
Britain”, *British Journal of Sociology of Education*, Vol. 14 No. 3, 1993
- 「『業者テスト追放』後の教育争奪戦と高校づくり」『教育』571号、国土社、
1994
- 「『一元的能力主義』を異化する一つの視座」『生活指導』、明治図書、1994
- 「競争の社会的再編と地域」（共著）、『人間と教育』4号、民主教育研究所、
1994

- 「〈学校〉〈労働市場〉間の日本的接続と日本型大衆社会」『日本労働社会学会年報』第7号、1996
- 「清輝くんの事件と思春期発達」『教育』617号、国土社、1997
- 「『新自由主義改革』攻勢に対抗する教育運動にとっての若干の課題」『高校のひろば』25号、旬報社、1997
- 「新自由主義『改革』の現段階」『教育』624号、国土社、1998
- 「教課審答申の描く高校像と高校教育『ダンピング』」『高校のひろば』30号、旬報社、1998
- 「若者たちの“学校から社会へ”を支える公共システム—イギリスの場合」『高校生活指導』140号、青木書店、1999
- “The Participation of Students, Parents, and the Community in Promoting School Autonomy: case studies in Japan” (共著), *International Studies in Sociology of Education*, Vol. 9, No3, 1999
- 「新自由主義・協同・生活指導」、日本生活指導学会『生活指導研究』16号、エイデル研究所、1999
- 「『戦後の青年期』の解体」『教育』650号、国土社、2000
- 「高卒無業者・フリーターの発生要因と社会的性格—近年の諸調査の批判的検討を通して—」『〈教育と社会〉研究』（一橋大学教育と社会研究会）11号、2001
- 「社会構造変容と教育—『教育改革』と教育学」『日本の科学者』36巻10号（405）、日本科学者会議、2001
- 「『戦後日本型青年期』とその解体・再編—『学校から仕事へ』の移行過程の変容を中心に—」『ポリテイク』3号、旬報社、2002
- 「変わる若者の生活環境とライフスタイル—『戦後型青年期』の解体・再編と若者たちのなかの困難—」『生活経営学研究』37号、日本家政学会生活経営学部会、2002

「東京の『教育改革』の現段階—その『危機』と矛盾」『教育』679号、国土社、2002

“Restructuring Youth:Recent Problems of Japanese Youth and its Contextual Origin”, *Journal of Youth Studies*, Vol. 6, No. 2, 2003

「『企業社会』の揺らぎと学校：90年代以降の学校と雇用の接続関係変容の性格と課題」『学校教育研究』18号、日本学校教育学会、2003

「『世界都市』東京における若者の〈学校から雇用へ〉の移行過程に関する研究」（共著）、『教育科学研究』第20号、東京都立大学教育学研究室、2003

「東京都の教育改革—分権改革下における教育と教育行政の専門性・自律性をめぐって—」『教育学研究』第71巻1号、日本教育学会、2004

「石原『教育改革』の性格と課題」『ポリテイク』8巻、旬報社、2004

「東京都の教育『改革』と都立四大学『改革』」『高校のひろば』52号、旬報社、2004

「“高校卒業1年目”を生きぬく若者たち」（共著）、『人文学報』第359号、東京都立大学人文学部、2005

“Why Freeter and NEET are Misunderstood: Recognizing the New Precarious Conditions of Japanese Youth”, *Social work & Society*, Vol. 3, No. 2, 2005

「青年期ルネッサンス?—若者・青年期研究をめぐる今日の問題点と課題」『人文学報』370号、首都大学東京都市教養学部人文・社会系／東京都立大学人文学部、2006

「明日を模索する若者たち：高卒3年目の分岐—『世界都市』東京における若者の〈学校から雇用へ〉の移行過程に関する研究Ⅲ—」（共著）、『教育科学研究』22号、首都大学東京都市教養学部人文・社会系／東京都立大学人文学部教育学研究室、2007

「若者の社会参加をめぐる二重の困難—労働市場の困難と『生きる展望』をめぐる困難—」『教育』739号、国土社、2007

「進路指導から外れる若者たちの社会への渡り—若者たちのもつネットワークの意味と役割—」『高校生活指導』172号、青木書店、2007

「不安定化する若者と生活指導の課題—不安定・危機の共通性と多様性—」、日本生活指導学会『生活指導研究』24号、エイデル研究所、2007

“The Only Future Certainty is that I’ ll Still be Speaking to her”; Social Capital/Network for the Transition of Disadvantaged Young People (共著), *Educational Studies in Japan: International Yearbook*, No. 2, 2007

「不安定化する若者をめぐる状況の性格と日本の特徴—失業・非正規雇用と労働市場規制—」『教育科学研究』23号、首都大学東京都市教養学部人文・社会系／東京都立大学人文学部教育学研究室、2008

「大学生の就職活動のインタビュー分析」(共著)、『人文学報』396号、首都大学東京都市教養学部人文・社会系／東京都立大学人文学部、2008

「〈学校から仕事へ〉の移行過程軌跡の検討」、若者の教育とキャリア形成に関する研究会編『「若者の教育とキャリア形成に関する調査」2007年第1回調査結果報告書』、2009

『新時代』を働き・生きる若者たち：高卒5年目の人生経路—「世界都市」東京における若者たちの〈学校から雇用へ〉の移行過程に関する研究IV—(共著)、『教育科学研究』24号、首都大学東京都市教養学部人文・社会系／東京都立大学人文学部教育学研究室、2009

「教育における市場主義の問題—教育バウチャー・学校選択制の政策言説と現実—」『批判的教育学と公教育の再生』、明石書店、2009

「不安定を生きる若者たちの生きづらさと高校時代の友人ネットワーク」『高校生活指導』182号、青木書店、2009

「教育とキャリア形成に関する調査の目的と2年目調査までの概要」、若者の教育とキャリア形成に関する研究会編『「若者の教育とキャリア形成に関する調査」2008年第2回調査結果報告書』、2010

- 『後期近代』という時代の若者たち—アイデンティティと『生きづらさ』
『教育』779号、国土社、2010
- 「自己コントロール感をめぐる日英比較」、若者の教育とキャリア形成に関する研究会編『「若者の教育とキャリア形成に関する調査」2009年第3回調査結果報告書』、2011
- “Accounting for the early labour market destinations of 19/20-year-olds in England and Wales and Japan” (共著), *Journal of Youth Studies*, Vol. 15, No. 1, pp. 1-15., 2012
- 「高等教育の大衆化時代における『新たな不平等』—日英の若者移行調査比較から」(共著)、若者の教育とキャリア形成に関する研究会編『「若者の教育とキャリア形成に関する調査」2010年第4回調査結果報告書』、2012
- 「高校中退者の中退をめぐる経緯とその後の意識に関する検討：内閣府調査(2010)の再分析」(共著)、『教育科学研究』26号、首都大学東京都市教養学部人文・社会系／東京都立大学人文学部教育学研究室、2012
- 「キャリア教育は何をもたらしたか—教育にひきうけられること、ひきうけられないこと」『現代思想』2012年4月号、青土社、2012
- 「高校再入学は中退者の成長を保障しているか：中退者にとっての学校と社会・仕事との接続」『高校生活指導』193号、青木書店、2012
- 『12年間の教育保障』の到達点と課題』『高校のひろば』84号、旬報社、2012
- “Identity and the Transition from School to Work in Late Modern Japan: strong agency or supportive communality?” (共著), *Research in Comparative and International Education*, Vol. 7, No. 4, www.wwwords.uk/RCIE, 2012
- 「労働・コミュニティからの排除と若者支援—社会教育への一つの問題提起—」、日本社会教育学会編『労働の場のエンパワーメント 日本の社会教育第57集』、東洋館出版社、2013

【解説】

「教育実践・教育理論にとっての70年代を問い直すー竹内常一さんの70年代と90年代ー」『竹内常一教育のしごと』第3巻、青木書店、1995

「解題/P. ウィリス」(熊沢誠監訳)『ハマータウンの野郎ども』、筑摩書房、1995

【翻訳】

ジェフ・ウィットティ著『教育改革の社会学』(共訳)、東京大学出版会、2004

アンディ・ファーロン、フレッド・カートメル著『若者と社会変容ーリスク社会を生きる』(共訳)、大月書店、2009

【報告書等】

「入学試験制度の教育学的研究ー高校生の進路選択に関する意識調査その2」『入学試験制度の教育学的研究4』、日本教育学会入学試験制度研究委員会、1978

「国公立大学入学試験度の改革についての検討」『入学試験制度の教育学的研究5』、日本教育学会入学試験制度研究委員会、1980

『文化学園都市づくりをもとめてー中津川市社会教育調査報告書ー』(共著)、中津川市教育委員会、1983

『現代企業社会と学校システムー長野県A市を中心とする地域総合調査ー』(共著)、民主教育研究所「現代社会と教育」研究委員会、1996

『学校と地域をむすぶ 特集 大都市周辺部における地域形成と学校システム』(共著)、民主教育研究所、2002

『分権改革下における地方教育行政ならびに学校管理運営過程の変容に関する実証的研究、文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(B)(1))中間報告書』(共著)、2003

「地域教育改革の比較研究」日本教育学会「教育改革の総合的研究」委員会
『教育改革の総合的研究』第四集、2004

『若年者の学校から雇用への移行過程の実態と支援政策に関する実証的研究』
(共著)、文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書、2006

『若者の意識に関する調査（高等学校中途退学者の意識に関する面接調査）』
(共著)、内閣府 子ども若者・子育て施策総合推進室、委員分析結果を担当、2012

【事典項目】

『現代教育学事典』（「能力主義」「立身出世主義」「受験競争」「能力主義管理」
「ダブルスクール現象」「高校中退」）、労働旬報社、1988

『現代教育史事典』（「戦後の教育運動・総説」）、久保義三ほか編、東京書籍、
2001

『現代教育方法事典』（「青年期」「進路指導」「フリーター」）、日本教育方法
学会編、図書文化社、2004

【評論等】

「青年期教育 高校教育実践の課題と視点」『教育』351号、国土社、1977
青年期教育一学ぶことを生きること結びつけ青年の明日に向かう生活を」
『教育』、国土社、1979

『選抜制度と進路指導』分科会に参加して（日教組三〇次教研を検討する）
『教育』、国土社、1981

『共通テスト』の現実性と実効性『季刊教育法』、エイデル研究所、1985

「教育理念 教育改革への視点(52) 経済的整合性よりも平等化への視点を」
『教職研修』No. 208、教育開発研究所、1989

「高校教育の理念と現実」『教育と医学』43巻10号・教育と医学の会、1995

- 「中高一貫教育の可能性と課題—公立中高一貫中等学校問題をめぐって」
『教育展望』42巻11号、教育調査研究所、1996
- 「国民が望む教育改革とは何か」『経済』43号、新日本出版社、1999
- 「かんかんがくがく『二一世紀日本の構想』懇談会報告書に見る新自由主義
と新保守主義の統合的な『教育改革』政策の登場」『高校のひろば』36号・
旬報社、2000
- 「高校統廃合をめぐる問題と課題」『教育』658号、国土社、2000
- 「職業教育・進路指導の充実は『フリーター問題』を解決できるか」『労働の
科学』57巻2号、労働科学研究所、2002
- 「教育基本法『改正』問題と学校の公共性」、『高校のひろば』45号、旬報社、
2002
- 「東京都の教育政策と『都立高校改革』—その問題点と都民・生徒らが期待
する都立高校像」『歴史地理教育』646号、歴史教育者協議会、2002
- 「『困難な学校での教育の可能性をきり拓く』によせて」『教育』689号、国
土社、2003
- 「もうひとつの教育改革 東京型教育改革は唯一の道ではない」『世界』716
号、岩波書店、2003
- 「若者の〈学校から仕事へ〉の移行をめぐる困難と職業訓練」『労働の科学』59
巻9号、2004
- 「いま若者の社会参加を支援するとは—職場・学校・政策を問う」（教科研大
会案内・大分科会）、『教育』、国土社、2006
- 「若者の社会参加をめぐる二重の困難」（教科研全国大会・大分科会への課題
提起）、『教育』、国土社、2007
- 「若者の貧困と自立」（特集 教科研大会・フォーラムへの課題提起）、『教育』
763号、国土社、2009
- 「『若者支援』を問い直す」（教科研大会・教育問題フォーラムへの課題提起）、

- 『教育』787号、国土社、2011
- 「キャリア教育の『光と陰』」神奈川県高等学校教育会館教育研究所『ニュース ねざす』第72号、2012
- 『企業社会』から排除された若者たちと社会教育の課題』『月刊社会教育』58巻6号(704)、国土社、2014

【インタビュー・報告記録】

- 「自由・平和・共生の地球をめざして—未来をひらく教育を子ども・青年とともに(基調報告)」(第32回教科研全国大会・第32回道民教合同研究集会/共同研究集会報告)、『教育』、国土社、1993
- 「企業社会と教育政策の視点から」〔日本教育政策学会〕第1回大会課題研究「教育政策研究の課題と方法」『日本教育政策学会年報』2号、日本教育政策学会年報編集委員会、1995
- 「基調報告 子どもと生きる 地域に生きる」『教育』、国土社、1997
- 「教育の機会均等・平等・能力主義をめぐる」(日本教育学会第56回大会報告・全体シンポジウム)、『教育学研究』65巻1号、日本教育学会、1998
- 「インタビュー 日本の能力主義の現在と教育・職業訓練システム—熊沢誠さんに話をうかがう〔含:インタビューを終えて〕」(特集 学校から仕事へ)、『教育』、国土社、2001
- 「インタビュー 宮本みち子さんに聞く 今、『大人になること』を考える—社会と家族、仕事の変化のなかで」『教育』、国土社、2002
- 「基調報告 東京の『教育改革』にどう立ち向かうか」(東京都の教育改革を考える)、『教育』、国土社、2003
- 「青年の雇用問題から見えてくるもの—教育学者・乾彰夫さんに聞く」『学習の友』604号、労働者教育協会、2003
- 『大学の自治』『学問の自由』の岐路としての都立大学問題』『前衛』778号、

- 日本共産党中央委員会出版局、2004
- 「都立四大学統廃合と『首都大学東京』」『経済』115号・新日本出版社、2005
- 「高校を卒業した若者の格闘—乾彰夫さん(首都大学東京教授)に聞く」『女も男も』108号、労働教育センター編集部、2006
- 「格差、『不安定』を生きる若者たち」『前衛』816号、日本共産党中央委員会出版局、2007
- 「増大する若者の不安定と社会の変容」『前衛』865号、日本共産党中央委員会出版局、2010
- 「法政大学中学高等学校教育刷新フォローアップ委員会土曜講座 中学生にとって自主・自立ってなに?」、法政大学、2011
- 「高校中退後の若者たちの生活・労働・学びと成長」、北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター『遊ぶ・学ぶ・働く場—持続可能な発達の支援のために—』、2012
- 「高校生の成長と高校教育の再生・創造・発展をめざして(3)高校中退調査からみえてきたもの」『前衛』886号、日本共産党中央委員会出版局、2012
- 「これが若者の働く現実だ—不安定の広がり」と誤った処方箋」『季刊労働行政研究』Vol. 32、全労働省労働組合、2013
- 「インタビュー 若者と仕事、仲間、そして社会：〈つながり〉から労働組合へ」『学習の友』728号、労働者教育協会、2014

【座談会等】

- 「〈座談会〉仲本実践「学力への挑戦」を検討する」『教育』・国土社、1980
- 「『教育』の三〇年をふりかえる」『教育』404号、国土社、1981
- 「〈座談会〉主権者を育てる社会科をさぐる」『教育』、国土社、1987
- 「教育科学の明日をさぐる—国民生活の動向と教育の課題」『教育』、国土社、1988

- 「《座談会》岐路にたつ高校—「多様化」のなかの青年期教育」『教育』、国土社、1990
- 「《座談会》競争の教育に立ち向かう—理論的・実践的争点をさぐる」『教育』、国土社、1991
- 「てい談 いま共生の時代—異質な他者, 異質な世界とともに生きるために」『教育』、国土社、1993
- 「座談会『関心・意欲・態度』問題の位置を探る」『教育』、国土社、1993
- 「《座談会》いま、教育と教育研究に求められているもの」『教育』、国土社、1996
- 「座談会 地域・草の根からの教育改革を」『人間と教育』15号、民主教育研究所、1997
- 「対談 今回の不況の性格をどうとらえるか」『教育』、国土社、1999
- 「《座談会》教育改革は地域になにを生み出しているか」『教育』、国土社、2000
- 「シンポジウム・教育の公共性を問いなおす」『人間と教育』28号、旬報社、2000
- 「座談会 どんな教育、どんな国づくりをめざすのか—教育基本法『改正』問題を問う」『経済』90号、新日本出版社、2003
- 「座談会 日本社会の再編と現代の若者—教育・就業・労働の接点で—弱者への転落を加速」『季刊自治と分権』18巻、自治労連・地方自治問題研究機構、2005
- 「座談会 若者をめぐる言説・政策をどうみるか?—階層分断化と自己責」『教育』、国土社、2005
- 「『世界都市』東京で働き、生きる若者たち—首都大学東京 乾彰夫ゼミ院生座談会—高卒5年間の調査研究から」『東京』309号、東京自治問題研究所、2010

「座談会「使い捨て」労働と青年の自立」『経済』210号、新日本出版社、2013

【書評】・図書紹介

佐藤淑子『書くことで育つ中学生の記録—学級担任でありえたとき』、『作文と教育』、本の泉社、1983

苅谷剛彦著『学校・職業・選抜の社会学』、『教育学研究』59巻4号、日本教育学会、1992

熊沢誠著『働き者たち泣き笑顔』、『人間と教育』1号、旬報社、1994

黒崎勲著『学校選択と学校参加—アメリカ教育改革の実験に学ぶ』、『教育』579号、国土社、1994

小玉重夫『教育改革と公共性 ボウルズ・ギンタスからハンナ・アレントへ』、『教育』657号、国土社、2000

苅谷剛彦・菅山真次・石田浩編著『学校・職安と労働市場：戦後新規学卒労働市場の制度化過程』、『教育学研究』68巻1号、日本教育学会、2001

志水宏吉著『学校文化の比較社会学—日本とイギリスの中等教育』、『教育学研究』72巻2号、日本教育学会、2005

本田由紀著『若者と仕事』、『社会科学研究』57巻3・4号、東京大学、2006

田村真広・保正友子編著『高校福祉科卒業生のライフコース—持続する福祉マインドとキャリア発達』、『教育学研究』76巻4号、日本教育学会、2009

中西新太郎・高山智樹編『ノンエリート青年の社会空間』、『経済』2010年3月号、新日本出版社、2010

植上一希『専門学校の教育とキャリア形成』、『教育学研究』78巻3号、日本教育学会、2011

【紹介記事等】

「国公立大学共通一次試験をめぐる問題(教育情報)」『教育』361号、国土

社、1978

「大学入試制度問題シンポジウムひらかる―青年の人生選択と大学入試(教育情報)」『教育』、国土社、1979

「最近の中学校・中学生問題と中曽根内閣の動向(教育情報)」『教育』424号、国土社、1983

「専修学校・各種学校」『子ども白書』1987年版、草土文化、1987

「『エリート校ではない』?都立大学付属6年制中等学校構想」『教育』612号、国土社、1997

「入学試験制度研究委員会」『教育学研究』59巻3号、1992

「都立四大学の『廃止』・新大学『設立』をめぐる事態―石原都政の大学再編・支配」『日本の科学者』39巻2号(433)、日本科学者会議、2004

「公立高校の統廃合と再編―東京都を中心に―」、日本子どもを守る会編『子ども白書2006年版』、草土文化、2006

「労働現場と学校を結ぶということ」『教育』749号、国土社、2008

「若者の教育とキャリア形成に関する調査について」『中央調査報』612号、中央調査社、2008

「5年間の移行調査と学校から社会への移行の諸類型：若者の教育とキャリア形成に関する調査から」『中央調査報』660号、中央調査社、2012

「若者の教育とキャリア形成に関する調査」、一般社団法人社会調査協会『社会と調査』第11号、有斐閣、2013

【口頭報告等】

「高校生の進路選択をめぐる問題：東京における意識調査から」、日本教育学会第37回大会、1978

「教育制度としての大学入試制度：入試制度研究委員会統括と提案」(共同報告)、日本教育学会第38回大会、1979

- 「企業社会と教育政策の視点から」、日本教育政策学会第1回大会課題研究、1994
- 「教育の機会均等・平等・能力主義をめぐって」、日本教育学会第56回大会全体シンポジウム、1997
- 「新自由主義・協同・生活指導」、日本生活指導学会第16回大会全体会、1998
- 「単位制運用のもとでの学習集団の形成について：T高校における事例分析より」（共同報告）、日本教育学会第60回大会、2001
- 「学校選択をめぐる問題と課題—公立小・中学校の選択自由化反対の立場から」、関東教育学会第48回大会公開シンポジウム、2001
- 「<学校から仕事へ>の移行過程変容と高校教育—ネオリベラリズムの高校改革の成否—」、日本カリキュラム学会第13回大会、2002
- 「70年代新設高校の困難化と地域：『大都市周辺部における地域形成と学校システム』調査から・その1」（共同報告）、日本教育学会第61回大会、2002
- 「大都市圏高校生の進路選択実態とその過程にみられる要因：インタビュー調査を通じて」（共同報告）、日本教育学会第62回大会、2003
- 「教育行政改革と教育実践改革：発題」、日本教育学会第62回大会課題研究、2003
- 「青年期ルネッサンス?：若者・青年研究をめぐる今日の問題点と課題」、日本教育学会第64回大会公開シンポジウムI、2005
- 「青年期の変容と研究・調査の課題：追跡調査ケーススタディをふまえて」、日本教育学会第65回大会特別課題研究、2006
- 「不安定化する若者と生活指導の課題—不安定・危機の共通性と多様性—」、日本生活指導学会第24回大会課題研究A、2006
- 「個別化・不安定化する若者の移行とネットワーク：高卒三年間の経年的インタビューを通して」（共同報告）、日本教育学会第66回大会、2007

“The changing nature of youth transition in Japan and prevalence of vulnerability, Exploring the Changing Nature of Youth Transitions and the Youth Labour Market; An International Seminar”, *UNESCO-UNEVOC International Centre on Technical and Vocational Education*; the Institute of Education, University of London, 2008

The Changing Nature of Youth Transition in Japan; Results of the First Sweep of Youth Cohort Study of Japan, Youth cohort workshop, Department of Management, Glasgow University, 2008

「若者の教育とキャリア形成に関する調査の目的と2年目調査までの概要」、日本教育学会第68回大会特別課題研究、2009

“Young People’s Transition from School to Work: its Structure and Change in Late Modern Japan” (共同報告), *XVII ISA World Congress of Sociology*, 2010

「労働からの排除と社会・コミュニティからの排除—若者の就労・支援をめぐる問題から」、日本社会教育学会2011年六月集会、2011

「移行をめぐる危機と移行的コミュニティ(transitional community)の可能性」、日本生活指導学会第29回大会課題研究C、2011

「5年間の移行調査と学校から社会への移行の諸類型：『若者の教育とキャリア形成に関する調査』から(その1)」、日本教育学会第71回大会、2012

「戦後高校教育の展開と到達点(高校教育改革の現状と課題)」、公開シンポジウムII、発表要旨)、日本教育学会第71回大会公開シンポジウムII、2012

Precarious Transition in Japan: Who are in precarity and How they feel it? (共同報告), *Youth Studies Conference 2013*, 2013

「個人化と関係性—若者の移行変容の引き取られ方をめぐって—」、関東社会学会第61回大会テーマ部会B、2013

Gender segregation in education: Switzerland and Japan compared (共

同報告), *XVIII ISA World Congress of Sociology*, 2014